BI-SEMANAL No. 2552 São Paulo, 4 de Fevereiro de 1947

NOTICIAS DO BRASIL

Redação e Administração - Rua Caramurú, 63 - Caixa, 3731

伯剌西爾時報

發行所 伯剌西爾時報社
聖市カラムル街六三
郵函三七三〇
社長 黑石清作
購讀料 一ケ年 二百四十クルゼーロス
半ケ年 百二十クルゼーロス

混亂から生れるもの
スペインに君主政体の芽生え

【パリー電】マドリツドよりの報道にとればフランコ將軍は長いフランス方面國境線に止め置いたスペイン軍の大部分を引揚げる事となつた

スペイン共和政府側の解釋ではスペインの獨裁者（フランコ將軍）は共和政府と和解の樣子を見せてスペイン君主政體樹立を目論んでゐるものと見てゐる、共和政府側一情報官は語る、情報によるとスペイン軍が佛國々境から撤退するとあるが、これはフランコ將軍の君主々義勢力との協定への到達とジョアン皇太子と握手の前奏曲なりと見られるワシントン外交筋は未だスペイン軍の佛國々境撤退の確報に接してゐないが、これはスペイン支配の新方向を構成する前提措置であらうとの見解持してゐる、スペイン政府の新方向については最近フランコ政府の要人多數が代つたことでも察知することが出來る、他面フランス首府を追放された共和政府側の人間審査と云ふ政治危機が開始され、共和政府首相ジラル氏の辭職が爆動されてゐる、既に實行された結果は變更されない、種々な集團の方向が種々な標示をなす前に勢力的地位の確立はない

【パリー電】まだフランコ將軍に對する反抗の可能性はなくならない、フランソイル紙はマドリツド報道

ジョアン皇太子のアンコラ擁立

なりと次の記事を掲げた司令官、士官の全部を含む強力な秘密結社はスペインの年中行事として軍隊のフエスタをやつてゐる、今年は一月六日に諸國外交官を招待してフエスタを盛大に行つた、ロドリゴ・メストレス・ジュアレス將軍は引致され保安警察本部へ監禁されたフランコ將軍に傷を負はせたサンチエズ・アルバ

危くて乘れない
瀕發する航空慘事

【サイゴン電】近頃の航空事故は毎日のやうに世界至る所で頻發してゐる、過日のアムステルダム、ストツクホルム間航空中スエーデン、ダスタボ王の孫と歌劇歌手グレース、ムーアの慘死など新しい事件とされてゐるが、何か事故防止の安全な方法でも發明されない限り飛行機旅行は甚だ危險なものとされてゐる、支那でも上海―重慶間の旅客機が墜落して乘客二十四名、乘組員四名が行方不明となつたと報じてゐる、尙ボゴタからの報道によるとコロンビア國の原始林の中へ旅客機が墜落し乘客十六名全部が慘死したと報じてゐる

極寒は全歐から米國へ
英は半凍結物を食ふ

【ロンドン電】今年の歐州及米國に於ける冬の寒さは六年間の戰爭で爆發した彈藥の熱を埋合はせるかの如き烈しい寒さの波が各國を浸してゐる、歐州では五十年以來ない低温度を寒暖計が慈悲心もなく示してゐるので、人民の苦しみは只ならぬものであると云ふ、英國のみを悲評する譯ではないが地理的に不利であるため寒さは一層甚だしく、數千の英人はガス使用の制限が嚴しいので半分凍つてゐる食物を口にせねばならぬ狀態で、電力供給を減少したため各種商社事務所、公衆事務の國際通信が杜絶し今回の電力減少は戰爭六年間中最大の減少であると云はれる、何が一番缺乏してゐるかと云へば筆頭は石炭で、河は氷結し、車道は輸送不能に陷り、鐵道は積雪多く、ために商取引を妨げ石炭の危機を益々加重してゐると報じてゐる、一方パリ市では寒さのため學校は門戶を鎖した、酷寒の波は獨逸にも波及し、獨逸では食糧は不足し石炭は殆んどなく、温き家を探すのに狂奔してゐる、該地官憲の發つた

潛水艦で密輸入

【ニース電】イタリアとスイスの國境にある湖で潛水艦の援助による兩國間の密輸入が發見されたと伊國一新聞が報じてゐる、密輸入者は眞夜中に湖底を渡り製品をイタリアへ密賣してゐたものであると

人畜物資の損害莫大
米南部に恐るべき暴風雨

【モントゴメリー・アラバマ州電】米國東南のアラバマ州を襲つた暴風雨のため十九名が死んだと報じてゐる

アルカンサス州北部及ミゾリ州南部を襲つた旋風のために十一名の死者を出し多數の家屋を倒潰、尙家畜の群を殺した他、穀物の損害は數十万ドルと評價されてゐる、今回の暴風雨は廣範圍に亘りイオワ、ミゾリー、イリノイス、ウイスコンシン、インヂアナ諸州及南部ミシガン州にまで及んで物質的損害は巨大の額に上ると云はれる、シカゴ市ではどうした天の配劑かチヨコレート色の雪が降り、ために シカゴ觀測所では危險な天候の前兆として恐れる者達が如何なる理由でその樣な着色した雪が降つたかと頻々たる電話の問合せがあるので、その返答に忙がされた、氣象學者はかゝる珍現象は南部地方を荒し廻つた旋風の埃がシカゴ地方にまで達して、雪を孕む雲の中へ入つたがためであると科學的明答?を與へたので漸く納得したと云ふことである

不思議？チヨコレート色の雪

民主々義者をおどす
米・ポーランド選擧を非難

【ワシントン電】國務省に於けるマーシャル長官の第二回審議に於てボーランド政府を非難せる公表があつた

ボーランド政府は約束した自由公平な選擧を行はないのみか、ポーランド國内に廣範圍にある民主々義者をおどかしてその自由意思を

ソ、獨との合致計る
獨軍を秘密組織で利用

【アンカラ電】トルコ首相が國民審議會に於て聲明した所によると、イスタブルにて發見された秘密書類と書簡は現政府を顚覆せんとした秘密結社の陰謀準備が記述してあつたと云はれる、トルコ國内で右の共産主義者の陰謀計畫を發見彈壓すべく嚴峻な調査が進められたと附言し、十二月中に七十名以上が嫌疑者として逮捕された

トルコに陰謀計畫

拘束した選擧は國民の眞實意思の表れでなくてはならぬのにこの措置は心外の沙汰である、これは延いてヤルタ・ポツダム兩協定を履行しない結果を招來するもので米國としては容認出來ぬものだ

住宅難は世界的現象

【レーキサクセス電】聯合國社會經濟協議會社會部委員會の言明によると社會問題の癌とも云はれる住宅難は世界的の現象で、正確を期したと云はれる調査によると世界中で不足してゐる住宅の數が一億軒（少々誇張されてゐる如く思える）だと發表してゐる、社會部委員會はこれを梃して今日社會問題中の難問だと思考して居り、可及的速かに衛生的で安價な家屋建築の計畫を樹立することを希望してゐる

移住どころか
英は國内に人不足
副植民相カンベラで語る

【カンベラ電】太平洋地方會議英國代表にして現副植民相イボー・トマス氏は自國の移民問題に關して當地で次の如く語つた

英國はオーストラリア及び英國領土への大規模な移住を鼓舞する意向はない、何故なれば英本國が人的資源の不足に惱んでゐるからだ、數年の間に僅數百乃至數千の移民がオーストラリアへ來るであらう、英本國人は人的資源の不足に苦しんでゐるので總ての男と云ふ男は必要である、殊に特殊技術を有する職工が必要である

鮮血彩る熱砂の聖地

【ロンドン電】獨立を與へよと叫ぶユダヤ人、パレスチーナの割讓を阻止せんとするアラビア人、聖地の保護者たる英人の板ばさみ、三者入り亂れて戰ふ熱砂の聖地パレスチーナ獨立問題は益々風雲急を告げ、何時解決するか今の所全く望みがない、ロンドンのパレスチーナ會議は暗礁に乘上げた形で英ベビン外相も該問題の如何に解決困難であるかを語つてゐる、然し關係代表者を網羅する聖地問題協議委員會が近く設置される筈である、一方ユダヤテロ團に誘拐されたコリンス少佐は釋放されたが、クロロフオルムで麻醉された時受けた口の傷のため食物も咽喉を通らない事實を、英政府はユダヤ人の文明社會を蔑視し侮辱した蠻的行爲なりとして非常に憤慨してゐるので、英國今後の動向が注目されてゐる

⊙割讓欲せぬアラビア人

【ロンドン電】エルサレムのムフチ（敎首）はカイロにて「デーリー・メール」紙代表者に左の如く語つた

パレスチーナの分割を欲するアラビア人は一人も居らぬ、分割は取りもなほさず國家的犯罪となるだらう、かゝる慘事を承諾する位なら寧ろ死を選ぶものだ、凄い激烈さをもつて活躍するユダヤテロ團に對し英國が「寬大」な態度で臨む事は英國の意向が奈邊にあるか自分には判らないスターの如く民族を賭しても獨立を敢行せんとするユダヤ人に對して、國家を擧げてこれを阻止せんとするアラビア人のあることは、余りにも皮肉な歷史的宿命とも云ふべきである、果してユダヤ人問題が如何なる所に落着くかは甚だ興味ある問題とも云へるであらう

解決はいつ・パレスチーナ問題
麻醉少佐口に重傷

【ロンドン電】エルサレムのムフチ（敎育）はカイロにて「デーリー・メール」紙代表者に左の如く語つた

パレスチーナの分割を欲するアラビア人は一人も居らぬ、分割は取りもなほさず國家的犯罪となるだらう、かゝる慘事を承諾する位なら寧ろ死を選ぶものだ、凄い激烈さをもつて活躍するユダヤテロ團に對し英國が「寬大」な態度で臨む事は英國の意向が奈邊にあるか自分には判らないスターの如く民族を賭しても獨立を敢行せんとするユダヤ人に對して、國家を擧げてこれを阻止せんとするアラビア人のあることは、余りにも皮肉な歷史的宿命とも云ふべきである、果してユダヤ人問題が如何なる所に落着くかは甚だ興味ある問題とも云へるであらう

トルコ軍シリヤしん入

【ダマスコ急電】トルコ軍はシリヤ國境へ侵入した第二報によればトルコ軍はテラビアド地域へ入つたと報道

【ダマスコ電】アルナセル紙はシリヤ首相ジヤミルダンはシリヤ國境へ侵入したシリヤ警察は武裝團を追跡中である

ベネズエラに革命勃發か

【カラカス電】前ベネズエラ大統領は現政府を顚覆し政權の挽回計るべく當國へ侵入の準備をしてゐる、と左黨の二大政治家が國民審議會に予告した、これに就き共產黨代議士は、侵略は飛行隊を先行として前大統領合同軍が後續するものだと語つた、一方民主黨代議士の語る處によると、陰謀者は國内の主要政治家暗殺を決行するに充分な武器がある旨を述べた、左黨諸新聞は可能性ある侵略を論述し直ちに對抗する國民軍を組織せよと強調してゐる、右の新聞はドミニカン共和國より逃亡して來た一政治家の言明を引用してゐるがそれによると前大統領軍はドミニカン共和國にあるラス・カルデラスの海軍基地をその作戰基地として使用するものであると報じてゐる

人工で天氣を變化？
米の一博士科學會で論議

【ニューヨーク電】限定された場所の氣壓狀態を支配することが出來る、と科學者は語り地方の天候狀態を變化させるべく研究中である、例へば危險な嵐を輕減するとか必要な場合は雨を降らせるとか、霜の降るのを豫告し、限定された場所のきりを消散させ嵐を阻止できる意味で方向を轉換させる等の計畫を「ラジオ・コーポレーション・オブ・アメリカ」のVズオルプキン博士が航空科學々會で論議した、天候の支配は觀測所の氣壓狀態に關する報告書の結果を迅速に測定する方法に關聯するものであると云はれる、その測定は電子計算器のお陰で可能になりつゝありと云ふ

もう南極に近いぞ
航空母艦を小アメリカ島へ
バード探險隊飛行機着陸

【南極地帶小アメリカ島電】去る一月二月米國ノーフオーク港を拔錨して勇壯なる南極探險に向つたリチヤード・バード少將の率ひる一團は目的地小アメリカ島にほゞ達したと報じてゐる、小アメリカ島より約一千粁を離れる地點に大型航空母艦フイリツピンシー號の錨を下して、同艦より最初に飛翔した飛行機の中の一機に乘つて小アメリカ島の基地に着陸したものであると、バード少將は前回の探險にて造られた小アメリカ島の基地にまで航空母艦を近付けようと思ひつゝ天候の良變化を待つてゐる

ソ聯獨中央政府の創設急ぐ
佛は一時的假政府樹立意見

【パリ電】ロンドンのランカスターハウスに目下開催中の四國外相會議へ、ソ聯は平和條約調印前に於て獨逸に中央政府創設を提議せるも、佛國側は一時的假政府を置いて然る後、永久的の獨逸國家組織を行ふべしとの意見で中央政府問題には心から乘氣になつてはゐない、佛としては一時的假政府を置いて後永久的の獨逸國家組織をなすべしとの意見しい、ソ聯は獨逸中央政府を急いで實現したい樣向であるが、中央政府設立の曉に於て自己占領區域以外の地域に對する影響の程度を深く考慮してゐる佛の假政府とすべしなる意見の眞相は獨逸政策の制禦のため一時的の假政府を置き、其上伯林に共同管理委員會を設置せんとする案には多大の困難性が伴つてゐる一面他の西歐諸國は一九四六年に於て重要な傾向迎合の意見を考慮に入れるべきだ

レーヨン工業に危機

【アクロン電】「レーヨン」の危機によりグツドイアーアンド・ラーバ會社では空氣入れ被覆物の生産を縮じた、尙從業員は右の製品注文が澤山あるに拘らず一週僅に五日勞働であると

數千年前にせいそく
怪奇・巨獸の骨發くつさる
ソ聯古生物探險隊の大手柄

【モスコー電】當市にて報導された所によると露領蒙古ゴビ砂漠中で、東洋一と云はれる最大な恐龍類（中生代の爬蟲類）の墓地が、ロシア古生物學者探險隊によつて發見されたと云はれる、同所には有史以前の數十の恐龍類、肉食巨大動物、草食巨大獸物等の死體があり、數多の骸骨は約七〇トンの重さがあつた、その中には體長一〇米突、高さ四米突、頭部の長さ一米突の恐龍の骨格があり、數千年前に生きてゐたと思考される爬行動物の卵、骨が散在してゐると云はれる、ナマガツの小村の近くにある巨大な洞窟の外に於て主な墓場が發見されたもので、さながら大きな自然博物館の觀があると云ふ、探險隊の者は外にも洞を見付けたが未だその發掘は終つてゐないと

ビゴ沙神秘の扉

南米『インカ帝國と日本人』(七)

福中又次著

（A）は南緯に屬し、太平洋諸島からペルーに向ふ線、これはコロンブス以前に慣海民鬼が舊大陸から新大陸に向ふたもの。

（B）以下の三線は北緯に屬して、殊にB說は日本からカリホルニヤに向つて黑潮にのつてきたもの。

（C）はカムチヤツカからアラスカに向つたもの。

（D）はベーリング海峽を渡つて東半球の新石器時代文化が輸入されたものとする四線をあげてゐる

以上は文化の移動經路を說明したものであるから、民族移住と同視するわけにできない迄も以て他山の石となすに足る。

以上の諸說を要約すると今から何千年或は何萬年、恐らく世界が今の地圖の通りでなかつた頃から同じ人種がゐたものか。でなければ海を渡り南米に移動したものか。或は又北大平洋若しくは或る學者のいふが如く陸つゞきであつた北邊を通つて亞米利加に來たものが更に南下して移住したかになるのである。其何れにしても亞細亞人種の移住は不可能でないので、この移住者を若し日本人だとして想像すると、黑潮に乘り移動する事が理由づけられぬでもない。之が陸地つゞきであつた場合なら一層可能性が強く、また南に漂流した場合を考へても、近世史の始めにいくたびか日本の漂流船がペルーの北になるエクワドルに漂着した實例もあり。更に南洋を通して想像すれば曾つて日本船の外南洋に跳梁した事實は豐富にあり、ミクロネシヤーやポリネシヤーなど南米大平洋沿岸との關係などを考へれば、赤道逆流に乘すれば其經路は容易に肯定し得られるのである。既に南大平洋の孤島イースター島の巨石文化がペルー地方の之れと相類似してゐる事を說明してゐる學者もあるのである。

我神代史を開すると、大國主神を補けた少名毘古神は海上より渡來して終りには常世國に去つたとある。常世國とは遙に隔つて容易に交通出來ない海外の國の義がある。降つて垂仁天皇の朝に田道間守が詔を奉じて橘の實を常世國に遠航して（十年もかゝつて）求むるに及んで、常世國とは南洋中央部の島嶼を指すものと解釋されてゐる、又神武天皇の東征に際し、天皇の軍船が熊野の海上で暴風に遭ひ、軍船が覆沒しようとした時、熊野の高倉下が一振の劍を天皇に獻じたが、天皇が之を受けられるや、熊野の山中に橫たはつてゐた大軍が悉く醒めたと云ふ話もあり。日本書紀には應神天皇の卷に在り古事記には仁德天皇紀に在る所の大船「枯野」の傳說もあるから、我邦上代の航海術をばそう低く見る事はできないのである。況やペルーの逃走神話が日本神話に共通性ありと唱へる斯界の學者の說など思ひ合はすと、日本人若しくは同種民族の南米漂流說にある暗示がないでもないと考へさせられるプレーインカ文化の種々相

南米インカ帝國の在つた地域にはインカ以前に於ても文化があり、之をプレーインカ文化と稱すことは前にも記した。然らばプレーインカとは如何なるものか、それを此所に說明したい。

プレーインカ時代の太平洋沿岸地帶にも、アンデス山脈に包含さるゝ高原地帶にも、各種各樣の種族が棲息してそれ〳〵文化を形成してゐた。いはば群雄割據の狀態であつた。北にはエクワドルの首都キトーを中心とするシリス文化があつた。その少し南に下つてペルーのピウラツンベス地方（今のエクワドル國境附近）にタイヤンネス文化がありまた其南方なる現在のリベルター縣のトルヒヨー市を中心にモチカス文化があり居城をチヤンチヤンに構へて今も遺跡を殘してゐる。モチカス族は一五〇〇年前にペルー北岸地方に住んでゐた種族で、人間の頭部の彫刻に秀でてゐた。さうしてその遺存されたものに依つて調査すると最早類型的の原始人型でなく個々の個性を具へた人となつてゐるほどに文化は進歩してゐたチムー文化はスペーバラモン地方が中心で遠くピウラ谷近く迄及んでゐた。パチヤカマック文化は今のペルー中部即ちリマ縣に根をおろしてゐた。ルリン町郊外に在る城址に其面影をとゞめてゐる中央山脈地方のペルーではシエーラといはゝ地方にケチユア及びアイマラ文化があつた。このケチユアとアイマラは體質上から見ると密接の關柄で、共に蒙古人種に屬し、皮膚は黃褐色、毛髮は黑直。此種族が他種族を征服包容してインカ帝國を建設したインカ主要族である。

嚴格で眞面目な基礎に

獨社會民主黨指導者は語る

獨の平和問題

【ベルリン電】獨逸社會民主黨指導者スシュマシエル氏はユーナイテツドプレツス通信員との特別會見に於て四大國會談で確認されたドイツ平和條約の根幹建設の重要問題に付て次の如く語る

ドイツ平和條約は　ルサイユ條約は現在から嚴格にして眞面目　見れば子供の玩具のやうな基礎によつて打　なものだ、ドイツは賠償建てたい願望である、ベ　の支拂はする、だが經濟の根本的再建設は計らねばならぬ、そして歐洲新組織の代表的講和條約を欲する歐洲の小國は現在及將來にかけ政治經濟の合同一致を必要とし獨逸は自然の勢力としてより以上の重荷を負はねばならぬことを覺悟してゐる

パレスチーナから英人總引揚げ

【エルサレム電】パレスチーナ駐割英國最高委員アラン・キヤンニン、ム氏は當地在住の英國婦人、子供及英國人民と見なされる者の引揚げを命じた、引揚げは二月四日から開始される事になつてゐる、引揚命令文左の通り

パレスチーナに惹起された最近の事件に鑑み英國政府は聖地在住の英國婦人、子供、一般英國平民の引揚げを命ずることに決定した、これは政府並びに軍隊が秩序維持の役割を履行する上に必要なものである、その意味に於ける通告と必要な訓令は既に關係者に與へられてゐる筈である

米人も引揚げん

【エルサレム電】パレスチーナ在住の英國全新聞通信員は直ちに聖地を引揚げよとの命令を受取つた、同地に滯留を欲する者には今後の事件の責任を持たないと報じてゐる、思ふにパレスチーナの事態は非常に惡化し重大である

パレスチーナ問題

米は極めて冷淡態度

【ワシントン電】ツルマン大統領は英議會に於けるチヤーチル氏の演説を是認せず米國としては英國のパレスチーナ再建設に對し援助しない、英國人はパレスチーナから引揚げるが米國人の引揚げについては英國に對し何等の要求もしない、英國人はパレスチーナに於ける通告と必要な訓令が拘留されたが中に前駐英大使及前駐亞領事が含まれてゐる

アレキサンドリヤに暴動起る

【アレキサンドリヤ電】當地で又々暴動が起り大學生團は隨處に激越なる反英演說やつてゐる、警察消防隊は火焰に包まれた學校教會の消防に盡力してゐる、アラビヤ系週間雜誌は英國政治に對し攻撃の一齊筆陣張つてゐる

英、パ問題を國際聯合へ提出

【ロンドン電】チヤーチル氏はパレスチーナ問題は英國より國際聯合へ提出すべしと下院へ要求した

【ロンドン電】ユダヤテロ團が英政府に與へた影響に關しチヤーチル氏は下院で非難したチヤーチル氏及保守黨員スタンレー氏は下院に對しパレスチーナ問題を國際聯合の裁決に委ぬるべき旨を要請した

【ロンドン電】前英首相チヤーチル氏は下院に於て戰爭末期に於けるユダヤ、アラビヤ人の市民戰の責任に關し英は何等の影響なかりし旨述べた

伯棉コロンビアへ

【ボゴター電】ブラジル船サンタ・マリアはコロンビア織物工場向け第一回の伯棉を積載してバランキラ港へ到着した、積載量は約一千トンで百万ベソ以上と評價されてゐる

英兵が荷物擔ぎカルカツタにストライキ

【カルカツタ電】五万二千のカルカツタ勞働者はストライキを宣言、當港に於ける勞働を中止し四十隻の汽船は封鎖した、港内の荷物運搬は英軍の兵士がやつてゐる、鐵業は電車の運轉手、消防夫までに波及した、休日設定と賃銀値上げ、社會保安積設置の要求が出された警察隊はムクルマン集會に對し落涙ガスを撒布し主謀者六十名を檢束した

新聞記者の參加を限定

希調査團公正欠く

【アテナ電】ギリシヤ國境事件を調査する國聯調査委員會の委員で安全保障委員會に參加せる十一ケ國代表が當市にて第一回の會談をなした、新聞報導陣を擔當するスタンレー・ライアン氏は委員會の決議として、世界六大通信社を代表する十名の新聞記者の參加を許可する旨言明した、この決定はギリシヤとトルコの新聞記者に大きな喧嘩を起させた、かゝる決定は報導公正本位に有害になるものだと非難してゐる

米、三國會談に氣乘薄

【ワシントン電】ツルマン大統領は新聞記者團に次の言明なした

英米ソ會談はそれ程必要とは思はれないがソレントに於てアツトレー、スターリン兩氏と劃期的會談が出來れば極めて滿足である

ボリビヤの動亂軍隊出動で鎭壓

【ラパス電】鑛夫の反亂から騷然となつたボリビヤ市に市民の安寧を保つため軍隊が到着したと報じてゐる、官憲が反亂の鑛夫群と折衝した結果反亂者は少數の分子によつて猛烈な宣傳で扇動された事を謝罪した、政府はボリビヤ市長に對し、僅百四十名の兵士がダイナマイトを持てる數千の者を制し鎭護したる事を激賞する意味にて祝電を發した、今回の暴動は革命派分子が煽動したものと云はれ十四名

伊首相・ソ聯訪問か

【ローマ電】アルシデ・デ・ガスペリ氏はスターリン氏からのロシア訪問の招待を受諾した、と一新聞が報じてゐる、同紙によると重要なる問題が兩者間で協議される筈で、デ・ガスペリ氏の旅行は二月に行はれると云はれるが情報は公式に確認されてゐない

ストックホルムに流感

【ストックホルム電】當市民約十万人以上が流行性感冒にかゝつてゐると衞生大臣が語つた、右の罹病者は全市人口の六分の一に該當するものであると、數多くの學校は閉鎖の止むなきに至り藥局に醫藥が澤山不足

印度・亞國間にバーター制

穀類、麻の交換取引

印度政府食糧局一情報官は語るアルゼンチンから穀類を澤山積んだ汽船が印度向け航行中だがアルゼンチン印度兩政府の協定により印度は同國に對し麻を送つて交換する事となつてゐる

印度で國際平和會議

ガンヂー翁歐米へ文書發送

【ボンベイ電】マハトマ・ガンヂー氏は印度に於て國際平和會議を行ふ企てをしてゐるが、世界平和を強調せる多數文書を歐洲米國の諸政治家へ發送した

殺氣漲るユダヤテロ團

英と最後の決闘敢行か

【イエルサレム電】戰爭がパレスチーナに近づいた、英國は完全にして大々的なる軍事的措置に出るものと見らる

英國軍最高司令部附近にある諸作業場は十二時間以内に他へ引越すことになつた

全市住民に對し「英國は重大行動に移るから市民はそれ〳〵早く適宜の方法とるべし」と通告した

【イエルサレム急電】イルゴウンズワイレウミ團はユダヤの英雄グルネルが英側に拘禁され死刑に處せられんとするのを辯護士を介して赦免の上告手續をとつたイルゴウン團の出したパンフレットには次の樣に記されてあるおゝ我々の軍隊は健在だ

英帝國よ、英政府よ

サヤーチル、アツトレーよ汝等の音を要求する、我々の英雄は降伏など絶對しない、これから行ふべき行動を子々孫々にまで傳へるであらう

【イエルサレム電】パレスチーナ政府一情報官は語るロンドン政府はモントゴメリー將軍出席の下に重要協議行つた結果は恐らくパレスチーナへの英國新政治は固着せしむるであらう

パレスチーナ在住英人子供婦人の退去が始り英飛行機で第一回四十名の婦人子供が運び出された

在伊、英ユ關係危機

【ローマ電】在伊ユーゴスラビヤ代表スモドレーキ氏は英官憲の組織せるテロ集團が正規の軍隊編成をなしチト將軍に反抗の宣傳をして居るユーゴ一士官の犧牲したことゝ共に在伊ユーゴ官憲と英官憲の關係は重大化してゐる

社告

本社外交員を左の通り相定め候間讀者諸彦には各地到る所に於て御善用御引立賜はり度願上候

聖市々内、中央線ピンダまで及びサントス・ジユンジヤイ線

主任　中村　熊太
　　杉山　弘治
北谷　粂太郎

聖市中央メルカード内
勝又　孝三
聖市中央メルカード前通り
良永時計店
ビネーロス
バール酒井
スザノ、イタケーラ
野村　賢
サントアマーロ取次店
セニヨーラ
アパレシーダ藥局
スザノ取次店
小山　商店
同　モヂ産組内西山
同　スザノ産業組合
モヂダスクルーゼス
取次店
カーザ中村
同　奥田要吉
（バール中田内）
同　杉田誠一
同　田川雜貨店
リベイロンピーレス
取次店バール東洋（田中）
マウア取次店
バール新城
サントス方面
上原直義
レヂストロ［三］
代理店　吉田耕三
ノロエステ線リンス支社
主任　中村滿志
アラサツーバ
松本林平
ミランドポリス
本坊秀吉
バルバライーゾ
横溝義光
グワラニベス
中村勝盛
プロミツソン
立石正人
ペンナポリス
丸井ホテル
ビリグイ
中村ホテル
グワイサラ
橋本ホテル
マツシヤード・デ・メーロ
藤原ホテル
パウリスタ其他方面
主任　中川忠吉
アララクアラ
マリオ
有田ベレトス
篠原太平次
カタンヂーバ
增田敏
タクワラチンガ
同　產業組合
ヴオトボランガ
篠原千馬太
モンテ・アルト
同　產業組合

カンデロ・ロドリーグス
照屋幸吉
リベイロン・ピレート
ホテル・サンパウロ
ミゲールボリス
齋藤菊治
ノーバ・グラナーダ
上月保次郎
オンダ・ヴエルデ
舘尾高雄
オリンピア
高橋高吉
アルタイール
白水茂雄
ソロカバナ線
プ・プルデンテ支社
主任　三浦四郎
支社員　岡田安一
ソロ線各地巡回
佐々木繁
プ・プルデンテ　郵函一三七
野村善太郎
インヂアナ驛取次店
橋爪多一郎
マルチノポリス同
古谷眞澄
プ驛モンテ・アルボン區
長嶋多喜
プ・ペルナルデス驛
稻毛熊次郎
森田光雄
遠渡英一
ア・マツシヤード驛
郵函七二
西澤仙助
同驛サン・ベニヂツト
元本三郎
同驛　郵函一五二
前田辰男
マンダグワリー驛
レジエンテ・フエイジヨ
郵函一四四
矢田滿
プ・プルデンテ驛
ベンチユアード
吾妻彌太郎
ランシヤリヤ　郵函五四
佐藤神一
クワタ　郵函一三二
福島博祐
バストス取次主任
森口宇吉
オズワルド・クルス
朝日勝一
ミナス州ベロ
オリゾンテ取次店
野中寅三郎
マリリア方面
主任　酒井政五郎
キンタナ地方代理人
池田國雄
ガルサ地方代理人
野口門藏
ソロカバナ更生植民地方
代理人　濱屋秀雄
北パラナ一帶柞蠶代理
主任　吉安幸平
アプカラーナ地方代理
木下初一
アラボンガ同
中島千次郎
カピウーナ同
江頭恭雄
ロンドリーナ
吉安幸平
アサイ同
酒井三佐雄
ウライ同
奥野覺

野菜相場

二月三日調

トマテ最上品	一箱	一五〇—一七〇
同　上等品	一箱	一三〇—一五〇
トマテ	等品	一一〇—一三〇
同	二等品	一〇〇—一一〇
梨		四〇—五〇
ブドー		一二〇—一四〇
リモン		五〇—六〇
ナスビ		一〇〇—一二〇
キウリ		一〇〇—一二〇
西洋カボチヤ		四〇—五〇
ピメントン		五〇—六〇
シユシユ		五〇—六〇
人蔘		一〇〇—一三〇
マンジヨキンニヤ		三〇—四〇
バタタ・ドーセ		四〇—五〇
一俵		一八〇—二〇〇
レボーリヨ		一四〇—一六〇
コーベ・フロール		一五〇—一八〇
バーゼン・バーラ		一五〇—一八〇
一旺		二〇〇—二五〇
バーゼン・ラステライ		一〇〇—一二〇
エルビリヤ・トルタ		一〇〇—一二〇
同　ブランカ		七〇—九〇
フエジヨン・コラード		六〇—八〇
ボーブラ・マヅーラ		一〇〇—一三〇
大根　一束		五〇—六〇
バタチンニヤ最上品		一〇〇—一三〇
一俵		二〇〇—二五〇
同　上等品		一八〇—二〇〇
同		一四〇—一六〇
二等品		一〇〇—一二〇
同		八〇—一〇〇
三等品		六〇—八〇
同		四〇—六〇
一般に強氣を示す		

鷄卵相場

聖市中央養鷄會社調

最上品	一箱三打	三四〇—三五〇
上等品		三三〇—三四〇
B級品		三二〇—三三〇
C級品		三一〇—三二〇

上等品の相場は強氣、下級品は反對に下落の調を示す

二月三日調

Granja Central

初生雛隨時御註文に應じます
鑑別率九五%以上を保證します

河奥孵化場
河奥博

セントラール線モデ・ダス・クルーゼス市ピネーロ・フランコ街
（アベニーダ九八三）
郵函　九二

Dr. O. A. Cox

Escritorio Internacional de Advocacia
(Bureau International des A ocats)

Com representante em todas as partes do mundo e agentes no interior do Estado de S. Paulo.

Drs. C. Santa Paula Netto e O. A. Cox

Rua Bôa Vista, 127, 1.o andar salas 108/110
Tel. 3.2921
e Rua Frei Gaspar 101 — Tel. 3.899 em Santos

清酒　櫻金水　醸造元
リベロン・ピーレス驛
宮地一郎

FARMACIA BARÃO DE IGUAPE
各種藥品卸小賣
御注文に應じ奥地へも卸値にて發送致します
バロン・デ・イグアッペ藥局
聖市中央市場前
カンタレーラ街二七七番
電話　二—五三七〇

Dr. Seitoku Zakimi
Advogado e Tradutor Publico
Inscrito na Ordem dos Advogados, Secção de S. Paulo
Praça da Sé, 23, 5.o and. sala 515
Tel. 2.2837 — Caixa Postal 3730 — São Paulo

法律一般
飜譯
座喜味辯護士事務所
法學士
公證飜譯人
座喜味盛德
事務所　聖市プラサダ・セ
二三—五階五一五號室
郵函　三七、二三〇
電話　二—一八三七

シネマそのまゝの大盜賊

八百コントスを失敬

支配人以下グルになる

聖市の豪華を誇る二大シネマ館内に映画さながらの盜賊團が此程發覺して物に動ぜぬ聖市子を驚かしてゐる、と云ふのは「パウリスタ映畵會社」の取締事務所ではその經營する聖市でも一流の「リーツ」と「マラバ」の二大シネマ館の入場賣上高が最近目に見えて少ないので、何か異常はないかと警視廳盜難課へ調査方を依賴して來たので内密に調査を進めた結果案に違はず惡徒群の組織が發見された、支配人、副支配人、入場券賣場掛、受付が參加する水も洩さぬ周到な組織であつて十名が目下嫌疑者として取調べを受けて居るが、彼等の方法は先ず出札掛が入場券を受付それを再び入場券賣場へ廻はして同券を二回賣つて居たものであると、損害額約八百コントスと云はれるから時節柄どでかい話である

おリーツ・マラバのみ馴染

ミルレイス紙幣の交換期限

【リオ電話】伯國大藏省負債償却準備金部では協議の結果左記のミルレイス紙幣の交換は四月三十日迄割引なく交換することに決定した、但し五月一日以後は次の割引が實行される

	Valor	Estampa
七月末日までは	五%	10$000 16.a
九月末日までは	十%	5$000 15.a e 16.a
十一月末日迄は	十五%	500$000 10.a e 12.a

滿点のマークつけられ田村幸重君放送局入りか

禮厚く懇望

颯爽と中原に馬を進め我が第二世諸君のため萬丈の氣焰をはいてその人格識見ともに内外人に認められた聖州代議士候補辯護士田村幸重君は年齒僅かに卅二歳の若冠であるが、先きに二回に亘り全聖州市民に當地放送局より政見發表の放送行つた、その論旨整然たると上品なこと態度の立派さ音聲身長の申し分のない明快な放送振りに感歎した放送局では早速田村君にアナウンサーとしての太鼓判を押し禮を厚くして迎えたいと申込んで來た、田村君は目下考慮中であるが第二世諸君のため各方面に道が拓けつゝあることはまことによろこばしいことではある

明暗世相

集めたり十五年間の窃盜品

【パリ電】フランスに窃とうした品物を十五年間といふ永い月日收集しそれを持ち去らうとした男があつたあはや目的を達成出來るかと見えた時、オイコラッ！と巡査に大聲でど鳴られて十五年間の苦心慘憺の結晶も一瞬にして水の泡となつてしまつたとは、泣くに泣けないドロちやんの悲喜劇ではある、彼はロバート・ブリと呼ぶフランス鐵道從業員で、余程慾深な男と見えどえらい嵩の品物を盜むべく六台のカミヨンを用意した、窃盜狂が十五年間辛棒して集めたものは何かと云へば、自轉車、タイプライター、數種の金屬製品公團の腰掛、スキー二十四個、恐らく世界一と云はれるかつらの蒐集百三十九個だつた、泥的君何んと奇妙なものを集めたものですな

親睦の楔

明朗スポーツ精神

モヂアナに擧る野球熱

近く大リーグ戰開始されん

時局前陸上競技聯盟の全伯大會に參加して漸くその存在だけを示した程であつたモヂアナスポーツ界に近頃明朗な運動熱が起つて來たことは嬉ばしいことだ

リベロン・ブレートの南澤氏提唱の「親睦はスポーツから」をモットーとする野球團が各地に起りつゝあるも一ペンにちやほやがる。こうした反面に人に對しては實に面倒を見る親切な姐さんだ『姐さん〳〵』と慕はれる原因がこゝにある、このオ千代姐さんの率いる美人軍を見渡すと、美人軍中皐春第一線の花形として美貌と可憐さをもつて強く咲き出た花一輪は鈴子さんだ、容貌に遜まれ素直さは認めていい牡丹の濃艶さやダリヤの絢爛さはないがその名の如く楚々たる鈴蘭と して第一線の名花であらう しかし今はその後續部隊としてクローズアップされて居る。アケミ姐さんだが以上の取締としてデップリとした體で諸嬢を監督して御座る。最後に私はどうしたのよ——と飛び出して來た二三人の美人軍、見れば鈴子、すこぶるの美人連十八九の花盛り、しかしオ千代姐さん氣をつけ！若い娘はサービスは惡いですぞとそこらあたりのすゝめはきへずつとるですぞ。斷つておくが決して美人暴力團なんてものはありませんから安心して可なりです。

光つて居る、共に右三名花としてクローズアップされて居る。アケミ姐さんだが以上の取締としてデップリとした體で諸嬢を監督して御座る。最後に私はどうしたのよ——と飛び出して來た二三人の美人軍、見れば鈴子、すこぶるの美人連十八九の花盛り、しかしオ千代姐さん氣をつけ！若い娘はサービスは惡いですぞとそこらあたりのすゝめはきへずつとるですぞ。斷つておくが決して美人暴力團なんてものはありませんから安心して可なりです。

れて居る、松江留美子である、二人共性的魅力、即ちイット云ふ奴はないが、揃つて溫良で美貌の主であり、また名の如く松の青々とした美しさと潑溂さがある、以上の三名に續いて春見、綾子、洋子、好子、登美子の五名が特機して居る 九の花盛り、しかしオ千代姐さん氣をつけ！若い娘はサービスは惡いですぞとそこらあたりのすゝめはきへずつとるですぞ。斷つておくが決して美人暴力團なんてものはありませんから安心して可なりです。

丸窓のそき

早春美人鄉

金は天下の廻りものだよ、こう見えたつてね、金は馬が喰ふ位はいつもあるんだよ、只馬が喰わないから喰わさないだけなのよ、こゝを何處だと思ふ——しやらくせえ、サンパウロは都だよお前なんざその田舍者じやないか、あたしはこう見えても、金なんざ糸目のない金泊のオ姐さんだよ、見損なふなよ、このオタンチンめ』オ千代姐さんの齒切れのよさにはどんなものでも一ペンにちやほやがる。こうした反面に人に對しては實に面倒を見る親切な姐さんだ『姐さん〳〵』と慕はれる原因がこゝにある、このオ千代姐さんの率いる美人軍を見渡すと、美人軍中皐春第一線の花形として美貌と可憐さをもつて強く咲き出た花一輪は鈴子さんだ、容貌に遜まれ素直さは認めていい牡丹の濃艶さやダリヤの絢爛さはないがその名の如く楚々たる鈴蘭と して第一線の名花であらう しかし今はその後續部隊としてクローズアップされて居る。アケミ姐さんだが以上の取締としてデップリとした體で諸嬢を監督して御座る。最後に私はどうしたのよ——と飛び出して來た二三人の美人軍、見れば鈴子、すこぶるの美人連十八九の花盛り、しかしオ千代姐さん氣をつけ！若い娘はサービスは惡いですぞとそこらあたりのすゝめはきへずつとるですぞ。斷つておくが決して美人暴力團なんてものはありませんから安心して可なりです。

ジヨー・ルイス來聖

二月廿二日猛拳振ふ

【ニューヨーク電】拳闘王として知られる世界重量選手權保持者ジョー・ルイスが來る二月廿二日聖市で初の演技を行ふことゝなつた相手は誰であるか今の處まだ確定して居ない「デトロイトの破壞者」の出場はフアンの熱血を沸すことであらう

ガソリン値上げか

【リオ電話】ガソリン輸入諸會社はガソリン一立に付き二センターボスの値上げ許可請願書を伯國石油審議會に提出した、請願書には生產地の原價增加に關する通信員の書類が添附されてゐる

初音信

奥田葉吉

音信斷えて六年經ぬれ長兄よりの
初の便りをむせびつゝ讀みぬ
よろこびに胸せめられつゝ讀つぎし
六年ぶりなる故國よりの文を
落ちつきて公館にありとの兄の直筆に
日本國の力を想ふ
姪はすでに二歳の兒ありと云ふ六年ぶりに
文送り來し兄ははや老ひにけり
おうそはかりてありし老父が訃報を
文字にて讀めば涙こみあぐる
夢枕幾夜かつゝけあきらめしも
今まざ〳〵しく見る改名溫厚勝德善居士と
八十の天壽を果し逝きませる
御父が死はくゆることなけれ
何時の日か會ふ日もあらむ長兄と
中ばあきらめつゝそが日を待たむ

短歌

○雜詠　德尾　溪舟

我が行くは彼方と思ふ山の上屯せる雲雨とならむか

○雜詠　清谷　益次

こだはりを持ちて默居る枕邊に妻が身じまふ氣配さびしく
其所此所に土を抽きたる若き芽のアスパラガスは土筆に似たり

○舊作　坪内　廣代

戰はいつの日果てむ故里に老いますらむ母の心にかゝる
戰は四年に入りぬ老いらくの我が母憶へば耐へられなくに

○雜吟　八卷　培夫

ひねもすを玉蜀黍畑の眞上にて崩え凝りつゝ雲のかゞよふ
簸陰にひそかによどむ池ありてこゝだ散り浮く灘木の實

○婚約　則近　正義

寫眞をとり交したる乙女子は吾が戀ふ如く我戀ふらむか
世に疎き我に副ひて一世經む愛しき乙女思はざらめや

○雜詠　上村登志行

新しき年明けたるは疑はず心素直にわがあらむとす
譏かけし夕ぬくとき澤の邊に蛙の聲がこもりて聞ゆ

○雜詠　奥田　葉吉

家近く來鳴く鳥あり一時雨過ぎし庭邊に草の香かほる
夕かけてわつかにのぞく日のあり處明日は晴るゝか雲の流れはげし

○雜詠　木下　綠陰

引越してまのなき我家に一番の鳩の來りて巢くひはじめぬ
ほの暗き洋燈たよりて先客の遺せし歌集手寫しはじめぬ

○雜詠　西田　季子

故知らぬ夫の怒に觸れつゝ心に潛む思ひはさぐる
飢に耐へ寒さしのびて灰の中に一つ一つと家建つといふ

○雜詠　武本　由夫

歸り來て炊ぐ妻に日に幾度惡をとひてなほ安からず妻の退院
庭つものなべて衰へ紫陽花の藍こそ映ゆれあした夕べに

後架出でゝ足のたゆきに耐へ居れば眼に輝きて柿紅葉散る

以上『林泉歌會』より

「詩」雨に

米澤　幹夫

雨、雨よ、大地を洗へ
虛僞と罪惡に汚れたこの大地を

● 僞善者たちよ、聞えるかあの物凄い雷鳴が
時代を呪ふ惡魔の嘲笑が

● 稻妻よ、閃光よ
廿世紀半ばの、この荒廢を憂鬱を　倦怠を
腐れかけた感傷を　叩き潰してくれ

● やがては
お前たちの去つた後に
清純な若芽が
新らしい思想が
萠えて出るだらう

日向葵

私は日向葵の花を愛する
灼熱した眞夏の太陽が
赫つと燃える時
狂ほしく陽炎が大地を嘗める時
威壓と怠惰に
景象は澱み
凡ての植物が萎える時

● 唯ひとつ日向葵の花だけが
名殘の　かほう
夢心地　ほんのりと
花がちる

『歌會出席其の他』

トツパン　大原友重

○始めての歌會に行くとあれやこれ昨日の一日は落着かざりし（第一回マリヤ短歌會）

○きわりありて寄らぬわみしさかこちつゝ今日相見るは河村君と我（荒木、富吉兩氏缺席）

○口重き性なりと思ひこだわりて歌人と對へば頓に默せり

○歌の道永く歩みて來し先輩の言葉は深く謹みて聽く（開沼賞代氏）

○富吉氏の爲めに誘へしと云ふお酒二人してよばれぬ嗜みなけれど（於、開沼氏宅）

○一杯の酒に醉ひづく我よりも河林氏はいたく顏にでゝ見ゆ

○須臾にして暑さまされば歌評會なすに幾度び身の汗ばみつ（第二回歌會於富吉居）

○かしこみて評聽つゝおれば玻璃窓を透る日射しに背の温みたる

○六年前み文の交り受けし事もはるけく想ふ今の現に

○己が師とひそかに悼み勵みて來てもはらに君の戀しきうかも

○師の君賜びたる古きアラゞキは今尚持ちてはなさゞるべし（以上三首、武本由夫先生へ）

○マリヤアの街に幾度いでゝ來つ尋めず戻りぬ君が住所は、富吉好人詞兄）

○暇なき故もこそあれ君が許心臆して訪ひそびれたる

○此日頃歌詠む事も怠りて荒木八雲に暫らく會はずかにかくも歌詠む技の身につきて我が一世は足らべくまあれ

星に贈る

幸　夫

神秘な光と夢を湛める
かの孤高なる星のまばたきを
私にみつめさすものは何だろう

● それは何等の虛色無く
しかも永久に變ることなく
高く寂しく輝く魂の
眞實の力を持つてゐる

● あゝ其の光の中に
さゝやく一つの魂よ
言葉なく私の胸に流れ込み
新たなる夢と希望を與へるものよ

● 永い呻吟のときを徑て
尚うつろなる私の生活に
清く優しい光をそゝぎ
はるかに私をまねく星
あゝお前の孤高なる光を
吸つてその高貴さに私は生きようとする

『詩』鳥人

スザノ　上村登志行

青雲を越え飛ぶ
我が片翼はもがれたりされど前進
何ものもなし　たゞ前進

◎ 我が行かひとところ
未だはるけく
たやすくは來らずとも
風雨強く　片翼にては
耐へられずとも
其の氣溫きびし過ぎるとも
何ものもなし　たゞ前進

◎ 我がプロペラの
震動の音をもて
いざ　天かけり行かんかな

復活の村

（六）

澤岡　晃雄

大分駈けて來たと見えて烈しく息を彈ませ乍ら、及田と圭太の方を等分に見乍ら勢ひ込んで訊いたのは村長の賀川だつた。後から十人餘りの靑年が　何れもはあ〳〵息荒くどか〳〵入つて來た。

「やあ、これは、仕事中忙しい處をお驅がせして申譯ありませんなあ、實は圭太の奴があまり失敬な事をしたもので、遂かつとなつてたゞ投げえ眞似をしただけのことですよ」

相好を崩して快然と笑つたそして事の顚末を簡單に話すと一同の顏を見渡した。

「いや、さうですかい、實はね、二人で口喧嘩してるつて子供が知らせに飛んで來たので、こりや大變な事になつたわい、何か惡い事でも起きてくれなければいゝがと思つて、大急ぎで一聯隊引き連れてやつて來たんですよ、はつはゝゝ…」

豫想外平靜な場面にほつとしたらしく賀川が笑ふと

「然し後始末はどうしますか、このまゝぢや濟まされんですせうが」側に居た色の白い上品な顏付きの靑年が一寸眞面目になつて晏ねれ

「構ふもへかい、あんな野郎一つぶん殴る位、いゝ藥にこそなれ、決して惡い事ぢやありませんやね」

云つたのは岸内だつた。

「然し、事態がかうなつたからは、僕としても迚も居すらくて居る譯には行きませんですから…」

及田は少し暗い影を顏に見せた。

「何、構ふものですか、心配しなさんな、後の事は村の衆が喜んで引き受けまさあね。たから今迄通り居て貰ひ度いんですよ」

賀川が元氣附ける口調で云つた。

「御好意は誠に有難いんですが、然し僕としては…頭から泥棒呼ばりまでされて居たくはありませんからねえ」投げ出す樣に云ふと急にしんみりした調子になつて淋しく床に眼を落した。

彼にこんな事で耕地を出るらしい意向がある事に感ずくとこんな事で出られては大變だと許り皆は急に慌てゝ、是非留まつてくれる樣にと頼りに慫慂し始めた。

「及田さん、そんな氣にならずにどうか居て下せえよ及田さんのやうな良い先生に行かれて何處の馬の骨だか牛の骨だか知んねえが、素性の知れねえ守淵つて男が後釜にでも据るやうになりや、あつしら安心して子供は任せられませんでねえ及田さん程のいゝ先生は滅多にあるもんぢやねえつてほんに喜んでゐたのでさあ第一靑年達が可愛想でさあね、あれ程慈父のやうに慕つてゐる靑年達がさあ。バトロンはあの通りの野郎だし、及田さんには出られる後釜には評判の良くねえ馬の骨が据る、つてな事になりや、こんな所にや居たくねえつて譯で、村の者は殆んど出てしめえまさあね。及田さん居る許りにこれ程明るくやつて來たのを出られちや、この村もほんに火が消えたやうになつちめえますだよ。

お斷り

平和の治世に於て國家の肇を祝し建國の鴻業を記念せんが爲め來る十一日に弊社は紙數增大の『紀元節奉祝號』を發刊し紙上に奉祝廣告を收めますので七日發行の本紙發行を一回休みますから此段お斷はり致します

伯剌西爾時報社

シチオ

日本人にアレンダし度

塲所　ヂユンヂアイー
家屋其他諸設備完備
果實其他目下生產中
詳細は
Rua Conselheiro Nebias, 559
S. Paulo

若い獨身者で

日伯兩語に通ずる

事務員一名入用

御志望の方は履歷書携帶御來談ありたし

伯剌西爾時報社
Rua Caremuru, 63 880 Paulo

空箱、雜貨卸小賣商

前田雜貨店

店主　前田德藏

聖市中央メルカード青物卸市場前
セナドール・ケイロス街六四一
電話　四—二七三八

ジョン・メンデスのフルタリア

水野果物店

聖市ジョン・メンデス廣場一二四
電話　三—一〇〇一

新憲法は銀行株を外國人にも開放

皆様の御協力にて
皆様のお役に立つ
皆様の銀行へ

南米銀行を

日伯兩益のためにも二世えの最大の遺業たらしめませう

公開株式廣範に求むるため締切二月末に

Praça da Sé, 393 — S. P. — Cxa. Postal, 75-B. S. P.

⊙帳簿整理
⊙營業手續
⊙諸手續一切
迅速、確實

土橋會計事務所

聖市バロン・デ・パラナピアカーバ街
二五番五階五號室
電話　二—七四五六

Agencia Ulysses

Trata de: Carteiras de Identidade para Nacionais e Extrangeiros, Naturalização, Passaportes, Cobradores, Folhas Corridas, Certidão das Policias, Maritimas e Junta Comercial, Requerimentos em Geral

Ulysses Bellini

Despachante Policial

Rua dos Gusmões, 355　:—:　Fone, 6.2083

カラカヤヒマスカ計取ヲ宜便御ノ樣ノ皆リ通リ記ノ上
御利用願ヒマス

日本人部

小田　勇

NOTICIAS DO BRASIL

Diretor-Gerente: SEISAKU KUROISHI — Fundado em 1917 — Redator-Chefe: SEITOKU ZAKIMI

ANO XXX — São Paulo, 4 de Fevereiro de 1947 — Circula ás Terças e Sextas — N.º 2552

PARA GOVERNADOR

Os resultados das eleições para Governador do Estado até ontem davam os seguintes totais:

Dr. Adhemar de Barros	194.881	177.811	372.692
Sr. Hugo Borghi	124.323	186.071	310.394
Dr. Mario Tavares	49.510	207.232	256.742
Prof. Almeida Prado	25.575	58.018	83.593

Anunciados oficialmente pelo Tribunal Regional Eleitoral.

O novo gabinete japonês

TOQUIO, 31 (R.) — Foi remodelado o governo japonês com a inclusão de dois novos ministrors. O novo gabinete inclue liberais, progressistas e apoliticos, mas ainda exclue os socios-democratas que se recusaram a participar do governo de coligação. Acredita-se que a investidura imperial dos novos ministros se realize ainda hoje.

COMO ESTA CONSTITUIDO O NOVO GABINETE

TOQUIO, 31 (R.) — É a seguinte a constituição do novo gabinete japonês, hoje remodelado: 1.º ministrto e ministro do Exterior, Shigeru Yoshida, liberal: Interior, Seichiro Takahashi, apolitico; Comercio e Industria, Mitsujiro Ishii, liberal; Transportes, Eisaku Sato, aoplitico; Agricultura e Florestas, Kijuro Shidehara, progressista; Finanças, Tanzan Ishibashi, liberal; ministro sem pasta, Jiro Hoshijima, liberal.

Os dois novos ministros são os srs. Mitsujiro Iishii e Eiesaku Sato.

Prejudiciais à nação as restrições à atividade economica

Impõe-se a revogação das limitações aos alemães e japoneses residentes no país

A ultima guerra mundial. mesmo antes que o Brasil dela participasse, determinou, em fins de 1941, medidas restritivas às atividades economicas de cidadões estrangeiros no país. Assim, em 9 de dezembro do referido ano, foi expedido o decreto-lei numero 3,911, que subordinou a licença previa da Fiscalização Bancaria do Banco do Brasil, todas as operações em que interviessem pessoas naturais ou juridicas de paises não pertencentes ao continente americano e que se achavam em estado de guerra. Posteriormente, a 11 de merço de 1942, foi assinado o decreto-lei numero 4.166, q ue dispôs sobre as indenizações devidas por atos de agressão contra bens do Estado brasileiro e contra a vida e bens de brasileiros ou de estrangeiros residentes no país. Esse decreto foi objeto de pormenorizadas instruções da portaria numero 5.408, de 28 de abril seguinte, expedida pelo Ministerio da Justiça.

Para eexcutar o decreto-lei 4.166 foi criada a principio a Comissão de Fundos de Indenização (Portaria 5.408. do Ministerio da Justiça, e Portaria numero 87 de 30 de junho de 1942, do Ministerio da Fazenda. Em outubro de 1942, todavia, foi criada a Comissão de Defesa Economica a cuja alçada passaram as funções da comissão anterior. Posteriormente, em julho de 1943, o governo expediu o decreto-lei 5.661, transferindo ao Banco do Brasil, como seu agente especial as atribuições executivas em apreço. Recentemente, já no governo Linhares, criou-se a Comissão de Reparações de Guerra (Decreto-lei 8.553) que, alem de ter a incubemcia de apresentar ao governo a conta geral das reparações de guerra, elaborar o plano de pagamento das indenizações devidas pelas pessoas atingidas pelo decreto-lei 4.166 e outras, orienta a aplicação do referido decreto-lei, estabelecendo as normas de ação do Banco do Brasil a respeito.

O decreto-lei 4.166 combinado com leis posteriores, atingiu bens de pessoas fisicas italianas, alemães e japonesas, residentes ou não no país, e das pessoas juridicas das referidas nacionalidades que não fossem organizadas na conformidade das leis brasileiras e não tivessem a sede de sua administração no Brasil, ou que fossem contrarias à segurança nacional ou meras subsidiarias de empresas alemães, italianas ou japonesas ,sediadas no estrangeiro (decretos-lei 4.807, de 7-10-42, e 5. 777, de 26-8-43). Para salva guarda do patrimonio nacional, ameaçado pela Alemanha a seus aliados (v. g., o ataque ao navio "Taubaté"), a lei estatuiu que uma parte de todos os depositos bancarios ou obrigações de natureza patrimonial, superiores a dois mil cruzeiros de que fossem titulares as pessoas fisicas ou juridicas atingidas, seria transferida para o Banco do Brasil ou Repartições arrecadoras de tributos federais. Vedou ainda a alienação ou oneração de bens imoveis, titulos e ações nominativas, bem como dos moveis em geral de valor consideravel pertencentes às mencionadas pessoas fisicas e juridicas e estabeleceu outras restrições. Quanto aos bens das pessoas juridicas de direito publico que praticassem atos de agressão contra o Brasil, assim como de pessoas fisicas ou juridicas dessas nações, domicialiadas no estrangeiros, passariam à administração do governo federal, ressalvados, no referente aos bens das ultimas os que estivessem na posse de brasileiros.

A obrigatoriedade do recolhimento de parte dos depositos e obrigações, para as pessoas fisicas cessou com a expedição do decreto-lei 4.806. de 7 de outubro de 1942. Mas as quantias originarias dos depositos obrigações e lucros de atividades agricolas industriais e comerciais, que já tivessem sido recolhidas ou fossem passiveis de recolhimento, até a data da publicação do decreto, continuariam sujeitas à retenção. A isenção atingiu, ainda, as proprias pessoas juridicas que exercem atividades agricolas industriais ou comerciais que estivessem pelo decreto-lei 4.166, sujeitas a recolhimentos baseados nos seus lucros liquidos trimestrais.

As restrições às atividades economicas de estrangeiros causaram, na vida pratica, uma serie de embaraços aos negocios, faceis de serem pesados. Principalmente nas zonas mais ricas do sul do pais, onde a presença do elemento estranegiro, das nacionalidades visadas, é numerosa e de grande potencialidade economica, efeitos contraproducentes se fizeram sentir. Tais efeitos não se limitaram a resultados imediatos e materiais mas se estenderam em profunda repercussão psicologica nas atitudes das comunidades alvejadas e refletiram-se necessariamente na vida de milhões de brasileiroes, descendentes de familias daquelas nacionalidades ou que com estas mantêm relações afetivas ou comerciais.

Por outro lado, a legislação contrariava uma tradição do direito brasileiro, pois obrigava particulares a responderem por danos causados pela atuação de Estados estranegiros em guerra.. O art. 3.º do decreto-lei 4.166 foi claro, quando estatuiu que o produto dos bens retidos serviria de garantia ao pagamento de indenizações devidas ao Brasil, caso o governo responsavel pelos danos causados não as satisfizesse. Um confisco potencial foi estabelecido sobre todos os bens incluidos nas restrições.

As pessoas fisicas italianas residentes no territorio nacional foram libertadas das restrições impostas pelo decreto-lei 4.166 e pelo de numero 3.911, depois de 12 de julho de 1945. A partir de abril de 1946 os próprios suditos italianos, pessoas fisicas e juridicas, domiciliados ou residentes no exterior, foram isentados das restrições do decreto-lei 4.166. Diante disso, e considerando que o termino da guerra dista de mais de ano e ainda que os paises aliados se preocupam com as reparações devidas pela Alemanha e o Japão, (v. a recente nota do Itamarati ao Conselho de ministros do Exterior em Londres) vem forçosamente à baila a situação das pessoas alemães e japonesas que aqui exercem atividades economicas. É impositiva a relevancia do problema, particularmente em São Paulo, onde as colonias teuta e niponica representam parcela poderavel de nossa vida produtiva, particularmente nos meios rurais. Voltaremos, pois, ao assunto, a fim de examiná-la sob o aspecto estritamente juridico e sob a sua feição economica e social.

Transcrito da FOLHA DA MANHÃ de 29-1-47

O aumento do imposto de Vendas e Consignações

A Secretaria da Fazenda vai expedir, em torno do caso de aumento do imposto de venda e consignações. As instruções abaixo.

as faturas e duplicatas expedidas posteriomente ao dia 22 do corrente deverão ser seladas no total calculado sobre a taxa de 1,80, mesmo que inclua notas de vendas anteriores, devendo nessa hipotese o contribuinte requerer à Diretoria da Receita autorização para compensação da selagem em excesso nas quinzenas futuras;

— as duplicatas emitidas posteriormente ao dia 22, com selagem na base de 1,40, deverão ter a selagem completada, para 1,80, quando a cobrança for feita por meio bancario, ou por verba, quando for realizada diretamente pelo emitente;

— no livro de Vendas a vista e Registro de Compras deverão os contribuintes fazer uma soma parcial até o dia 22 inclusive, e outra parcial do da 23 até 31 do corrente, selando no total calcurepresentam parcela donderavel de lando o primeiroperiodo na taxa de 1,40 e no segundo na taxa de 1,80;

— no imposto de transações oriundo de contratos anteriores a 23 de janeiro a taxação devida será a de 1,25 taxa da vigencia do contrato, mesmo que o faturamento total ou futuramente parciais sejam de datas posteriores.

Metodos de cultura de arroz

especiais para a "produção de sequeiro" — São Paulo apresenta condições

Embora o arroz seja uma planta hidrofila e de climas quentes. isto é, cultura tipica de campos inundados com agua, varios são os metodos de produção desta planta. A cultura irrigada predomina na a maior parte dos paises rizicolas mas de acordo com as condições climaticas de cada lugar, a exploração poderá ser feita sem irrigação. É o caso do Estado de São Paulo, onde as chuvas coincidem com a epoca de calor, sendo a irrigação dispensavel, apesar de oferecer um elemento de segurança para a produção.

Os dois fatores que mais pesam a favor da cultura irrigada são, sem duvida, a maior produção e a sua estabilidade. A agua é tão importante nesta cultura que, com boas facilidades para a irrigação, o arroz é a mais segura de todas as culturas.

A cultura irigada exige condições especiais de terreno, no que diz resepito à disponibilidade de agua propriedades fisicas e constituição do solo para conter a agua sem grandes perdas por infiltração e lavagem do terreno.

O preparo de uma varzea para esta cultura é geralmente custosa e exige conhecimentos tecnicos de irrigação e da cultura.

A produção de arroz sem irrigação ou de sequeiro é o que assume maior importancia em São Paulo, abrangendo quase a totalidade de safra paulista. É que nosso Estado apresenta condições muito especiais para este metodo de cultura, pois, salvo anos excepcionais. há sempre suficiente calor e umidade nos meses favoraveis à produção de arroz.

Esse metodo é empregado principalmente nas zinas novas de derrubada recente do mato, onde a terra possui boas qualidades fisicas para conservar a umidade. Os inconvenientes da cultura sequeiro são: menor produção por area instabilidade da produção de acordo com as chuvas durante o floresçimentos encarecimento do custo de produção pela necessidade de capinas. Alem disso, exige terras boas para produzir satisfatoriamente.

A cultura em várzea não irrigada é um método que pode ser colocado entre os dois precedentes. Visa a um maior aproveitamento da umidade e fertilidade do solo, afastando parcialmente o perigo de fracasso por falta de chuvas. Neste caso, o terreno deverá apenas ser drenado por meio de canais, a fim de eliminar a água estagnada e arejar o solo.

Seja qual for o método de cultura adotado, a Escolha da semente representa fator de grande importância na produção de arroz. E' decisiva nesta cultura a escolha de uma variedade adequada às condições locais, com alto poder germinativo e absolutamente isenta de arroz vermelho, capim macho e outras sementes prejudiciais.

O Departamento da Produção Vegetal distribui sementes de boas variedades, adequadas para os diversos tipos de cultura.

Assim é que o "dourado-agulha", o "Iguape-agulha" e o "Jaguari" são as variedades mais indicadas para a cultura irrigada. As duas primeiras apresentam o melhor tipo de arroz existente no mercado interno; o "Jaguari", arroz meio-agulha, tem produzido o maior rendimento em culturas irrigadas.

O "dourado-agulha" é recomendado para as culturas em que o preparo da várzea foi bem executado, enquanto que o "Iguape-agulha", por ser mais rustico, produz bem mesmo em solo imperfeitamente preparado.

Em culturas de sequeiro, recomendam-se as variedades "Jaguari", "cateto" e "perola". Esta última, aclimatada e estudada pelo agrônomo Emilio Germek, do Instituto Agronômico, está fadada a substituir todas as demais variedades cultivadas em sequeiro no Estado de São Paulo, pela sua grande resistência à seca, precocidade e boas qualidades do produto beneficiado, que pertence ao tipo agulha.

牙ゆるに悲しいアフリカ象

田澤丈夫

アフリカ象は、牙ゆるに哀れにも悲しい運命を託つてゐる。それは、亞細亞が己れの不覺怠慢の爲め、貪慾飽くなき白人の犠牲に供せられて悲運に喘ぎつゝあるのと似通つた所がある。

有名なバスコ・ダ・ガマが僅か百二十噸足らずの帆船で、アフリカの南端喜望峰を廻つて、遂に印度の西海岸に辿り着いた一四九八年より、ヨーロッパ人に依り亞細亞の血は吸ひ取られ始めた。白人の悪辣極まりなき侵略と飽くなき搾取とに氣付いた時は既に手遅れであつた。さればこそ、神國日本が、ペリーの來航に依り、永い永い泰平の夢から揺り起された一八五三年には、亞細亞は文字通りスープの出しがもとなつて、傷ましい巨体を日本の眼前に横へてゐたのである。

亞細亞は貪慾極まりなき白人の犠牲に供せられた。實に憎むべきは、ヨーロッパ人である。然し彼等を憎む前に、亞細亞は深く自らを省る必要があるのではあるまいか。

即ち亞細亞の側にも彼等を乘ぜしむるに至つた不覺や怠慢があつたのではあるまいか。

兎も角、何れの側に罪があつたにせよ、亞細亞は極度に虐げられ終つた。だが然し亞細亞は今や飜然と悟る所があつて、毅然として起ち上つた。光は既に東方から上つた。前途は多難に相違ないが、やがては亞細亞本然の姿に立ち歸る事が出來るであらう。

アフリカ象も亦、亞細亞と同樣ヨーロッパ人に依つて慘めにも痛ましい姿に蹴落されて終つた。若しもあの魅惑的な美しくも偉大な牙がなかつたならば、今日の如き悲しみを見る事はなかつたに相違ない。亞細亞は自らの力で立ちなほる事が出來るであらうが、悲しいかな無心な象にはその力がない。襲ひ來る運命に甘んじて從はねばならぬ。哀れ亡び行く彼等の痛ましい姿に、一掬の同情の涙を禁ぜずには居られない。

今日でこそ、象牙の價値はすつかり下つたが、往時は金銀珠玉にも劣らぬ程尊いものであつて、王侯其他の貴人や財産家でなければ安んじて身につけかねてゐたものである。

エジプトとバビロニヤとが榮えてゐる頃、ヘブライ人はヘブライ王國と云ふものを建設したが、有名なソロモン王の時には全盛榮華を極めた彼は父王の遺命に依り、有り餘る金の力と權力に任せエホバの神殿を造營したが、その結構壯麗善美を盡し天下の耳目を聳動した。次いでソロモンは彼の宮殿を營んだが、神殿にも劣らぬ贅を盡したものであつて彼の壯麗豪華な玉座は、當時としては珍寶珠玉にも優つて尊い象牙をちりばめたものであつた。又古代エジプトの王侯貴族の墓中から發掘された象牙製の品々は、今日でも尚ほ美術品として珍重されてゐる。

アフリカ象は、牙ゆるに哀れにも悲しい運命を託つてゐる。それは、亞細亞が己れの不覺怠慢の爲め、貪慾飽くなき白人の犠牲に供せられて悲運に喘ぎつゝあるのと似通つた所がある。

有名なバスコ・ダ・ガマが僅か百二十噸足らずの帆船で、アフリカの南端喜望峰を廻つて、遂に印度の西海岸に辿り着いた一四九八年より、ヨーロッパ人に依り亞細亞の血は吸ひ取られ始めた。白人の悪辣極まりなき侵略と飽くなき搾取とに氣付いた時は既に手遅れであつた。さればこそ、神國日本が、ペリーの來航に依り、永い永い泰平の夢から揺り起された一八五三年には、亞細亞は文字通りスープの出しがもとなつて、傷ましい巨体を日本の眼前に横へてゐたのである。

亞細亞は貪慾極まりなき白人の犠牲に供せられた。實に憎むべきは、ヨーロッパ人である。然し彼等を憎む前に、亞細亞は深く自らを省る必要があるのではあるまいか。

即ち亞細亞の側にも彼等を乘ぜしむるに至つた不覺や怠慢があつたのではあるまいか。

兎も角、何れの側に罪があつたにせよ、亞細亞は極度に虐げられ終つた。だが然し亞細亞は今や飜然と悟る所があつて、毅然として起ち上つた。光は既に東方から上つた。前途は多難に相違ないが、やがては亞細亞本然の姿に立ち歸る事が出來るであらう。

アフリカ象も亦、亞細亞と同樣ヨーロッパ人に依つて慘めにも痛ましい姿に蹴落されて終つた。若しもあの魅惑的な美しくも偉大な牙がなかつたならば、今日の如き悲しみを見る事はなかつたに相違ない。亞細亞は自らの力で立ちなほる事が出來るであらうが、悲しいかな無心な象にはその力がない。襲ひ來る運命に甘んじて從はねばならぬ。哀れ亡び行く彼等の痛ましい姿に、一掬の同情の涙を禁ぜずには居られない。

今日でこそ、象牙の價値はすつかり下つたが、往時は金銀珠玉にも劣らぬ程尊いものであつて、王侯其他の貴人や財産家でなければ安んじて身につけかねてゐたものである。

エジプトとバビロニヤとが榮えてゐる頃、ヘブライ人はヘブライ王國と云ふものを建設したが、有名なソロモン王の時には全盛榮華を極めた彼は父王の遺命に依り、有り餘る金の力と權力に任せエホバの神殿を造營したが、その結構壯麗善美を盡し天下の耳目を聳動した。次いでソロモンは彼の宮殿を營んだが、神殿にも劣らぬ贅を盡したものであつて彼の壯麗豪華な玉座は、當時としては珍寶珠玉にも優つて尊い象牙をちりばめたものであつた。又古代エジプトの王侯貴族の墓中から發掘された象牙製の品々は、今日でも尚ほ美術品として珍重されてゐる。

わすれ道

徳田一穂

取次に出る、女中でも郷里から出て來てゐる父親の甥の娘でも、「兵頭さんがお見えになりました」と云つて、にやにや笑ひながら、椎名のところへ知らせに來るのだが、——來だすと、兵頭綾子は一日おきくらいに遣つて來るのだ。それがふツつりと遠のいて、また忘れかけた時分に、ひよつこり姿を見せるのだ。

訪ねられゝば、座敷へ通して會つて見るのだが、別にこれと云つた話が二人の間にある譯ではなかつた。「さうでツか？」と言ふ言葉が、兵頭綾子の口から出る度び毎に、椎名はなにか理由なく怒られて居るやうな氣がして、口には云へないが不快さに襲はれるのだ。言葉の調子からして重苦しいふん圍氣を醸し出して來る感じで、遣り切れなくなつて來ると、逃れるやうに「そのへんまで出て見ませうか」と云ふやうに云つて椎名は極まつて兵頭綾子を誘ひ。ふらりと家を出るのだ。外へ出て、近くの喫茶店へ兵頭綾子を連れ込むと椎名はいくらか輕くなつた氣持になつて、彼女の身の上話のやうなものを聞き噌つたり、身の上の相談を持ち掛けられたりするのだ。

こんな具合だつたので、茶の間で話し合つて居る時など、いつの間にか、兵頭綾子の名前が家の者たちの口にのぼるやうになつて居た。そんな時に、「何處でお知り合ひになつたの？」

妻から、そんな風に問ひかけられたりすると、椎名は内でちよいと窮するのだが、なんでもないと云ふやうに、「どこツて、顏が廣いから」などゝ、喪え切らない返事をして澄ました風をして居るのだが、それ以上妻も突つ込んだりはしなかつた。

煮え切らない返事をして居るのは、椎名の氣持に嘘があると云ふよりは、說明するのが面倒であつたのと健康さうに肥つて娘々して見える兵頭綾子の過失を庇ふ氣持が無意識のうちに働いて居たからだ。

去年の冬のことだつた。妻のお産が近ついて居た時だつたが、椎名はお産の費用の目算がつかなかつた。しい名は、その時になればなんとかなるもんだ、とは思つて居たが、そこへ丁度山上書房に勤めて居る秋元からの速達があつたのだ。話しは前々からあつたことで、秋元自身椎名の留守の時一二度訪ねて來て呉れたこともあつたのだが、餘り氣乘りのしない仕事だつたので悪いとは思ひながら打つちやらかして居るうちに忘れかけて居たのだつた。

仕事と云ふのは、山上書房で力瘤を入れて出す文章講座に、都會文學について書くことだつた。そんな仕事に自信は持てなかつたが椎名はなんとかでつち上げて書けるだらうと考へた。それに秋元のところには、參考書になるやうなものが二三冊あると云ふのを、大ぶん以前だが、銀座で出會つた時、しい名は耳にして居た。賴りない氣持で當のない小說なんか書いて居るよりは、餘り氣乘りのしない仕事だが、書けば直ぐ金にかはるそんな仕事のはうが、その時のしい名の氣持にはぴつたりと來て居た。

參考書になると云ふ書物も借りたかつたし、締切の日限も確かめておきたかつたので、速達を貰つた翌る朝、しい名は秋元のアパートに出かけて行つた。

（續く）

◉物言ふ小鳥

南方の國から傳へられた物言ふ小鳥は、美しい籠のなかに飼はれて、何の脅威も知らず、平安な樂しさをつづけて居る。巧みに人の言葉を眞似するこの鳥は、人の笑ひ聲をさへ眞似得るけれども、考へて見れば、自分の心から勢一杯に、笑ふ事も出來ない悲しい鳥である。廊廊につづく高殿の窓によつて、うらゝかな春の日のもとにこのもの云ふ鳥は、籠を隔てゝ今もなほ、巧みな聲色を弄して居る。教へられた通りに、そのまゝ守つて行くのは、もちろん素直な事である。しかしをしへられた事だけを守ることは、必ずしも權威あることではない。

◉春の行列

春の行列は、さまゞゝな色と光と匂の調和をもつて、靜かに過ぎて行く。行列は常に新なる展開をもつて、大地のはてよりはてへと、絶えざる行進をつづける。そして、過ぎて行くところすべてを、かがやかしい光明をもつて、うるはしく莊嚴せずには措かない。身には燃ゆるやうな色ごろもを着け、胸は希望の調べに高鳴り、眼は歡喜の涙にうるほひ、口は朗らかな歌を口吟む。行列は、恰も綿卷物の如く、靜かに續いてゆく。欺き合ひ、罵り合ひ、爭ひ背きつつ、過ぎし日の惱みのかげにのみ、魂を奪はれ心を傷めてゐる人たち、春の行列は、この人たちの前を通る。

◉幼兒のこゝろ

幼兒が母のふところに抱かれて、乳房を哺んで居るときは、すこしの恐怖も感じない。すべてを托しきつて何の不安も感じないほど、遍滿し居る母性愛の登きめぐみに、跪かずにはをられない。いだかれてありとも知らずおろかにもわれ反抗す大いなるみ手に、しかも多くの人々は、何ゆえに惱み、みづから悲しむのであらう。救ひの輝しい光の中に、われら小さきものもまた、幼兒の素純な心をもつて、安らかに生きたい。大いなる慈悲のみ手のまゝ、ひたすらに久遠のいのちを育くみたい。大いなるめぐみの中に、すべてを托し得るのは、美しき信の世界である。夏安居散り行く花は、風を怨まうとはしない。凡は自分にめぐまれただけの本分をはたして、しつかに散つて行くしかも、青葉につゝまれた森の樹々はいよゝ榮え、しつとりと落ちついた綠のかげには莞爾たる虫けらたちにも、ひとしく生のよろこびが頒たれる。一切のものはみな生きて居る。自分のみが生きて居るのではない。散つて行く花の命を傷む私たちは、むしろ、生きて居る一疋の虫の命をも、心からいとしまなければならない。釋尊教團の人々によつて守られた、一夏九句の安居の諭しを偲ぶにつけ私たちは長しへに偕に生くべき慈悲の聖期を守りたいと思ふ。

◉罪のなげき

道をもとむる人のなかに、ともすれば人生を罪深いものとして、こゝを否定しようとするものがある。しかしながら否定し得ない現實の前には、何人も心おどろき慄かざるを得ないのである。救濟の光は、惱めるものゝ處に輝いて居る。ひかりは呪はれた罪をこそ照らしてくれる。惱みのあるところ、ひかりはつねに、惱めるものと偕に在るのである。光りに照らし出されたところこびを味はふものは、また罪のなげきを味はふものゝみであらふ。否定し得ない罪をみつむるものこそ、眞實に救ひのよろこびを受け入れる事が出來る。

（無愛華より）